

2025年9月24日
株式会社みずほ銀行
GMO イプシロン株式会社

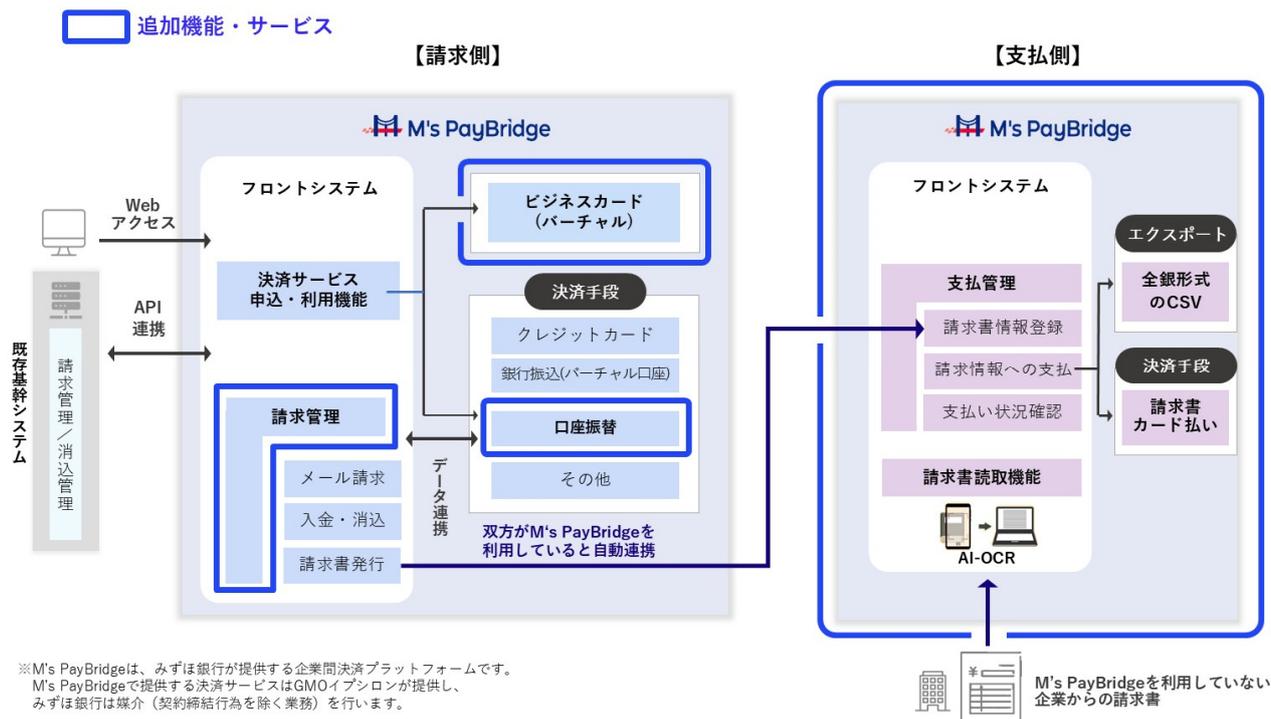
企業間決済の利便性がさらに進化「M's PayBridge」サービスレベルアップ ～請求も支払いも、もっとスマートに。業務効率化と資金繰りをサポート～

株式会社みずほ銀行（頭取：加藤 勝彦、以下「みずほ銀行」）と GMO イプシロン株式会社（代表取締役社長：村上 知行、以下「GMO イプシロン」）は、企業間決済プラットフォーム「M's PayBridge」※1 ※2において、サービスレベルを大幅に向上させる機能強化を実施しました。これにより、企業間取引における決済・業務プロセスがさらにシームレスとなり、請求企業・支払企業双方にとって新たな価値と利便性を提供します。

「M's PayBridge」は、GMO イプシロンのオンライン決済インフラ「fincode byGMO」を活用し、請求・資金回収・支払業務を一元管理できるプラットフォームです。今回の「fincode byGMO」の開発によるサービスレベルアップにて、お客さまの多様化する決済ニーズや業務効率化のニーズに、より柔軟かつ的確に対応できる仕様に整えました。

1. 「M's PayBridge」サービスレベルアップ（概要・イメージ図）

「支払側」の機能を新たに追加するとともに、「請求側」は、既存サービスに「ビジネスカード」と「口座振替」を新たに追加し、「請求管理機能」をレベルアップしました。



2. サービスレベルアップの具体的な内容

(1) 請求企業（売上を回収する企業）向け

① ビジネスカード（売上連動型）機能の追加

資金ニーズが発生した際、「M's PayBridge」上で入金予定の売上金額を基にビジネスカード（バーチャルカード）の利用を申し込むことで、その時点の売上金額を基とした利用枠が都度設定され、支払いに充当できる機能です。これにより、売上の入金前でも必要な資金を調達でき、企業の資金繰り改善に役立ちます。

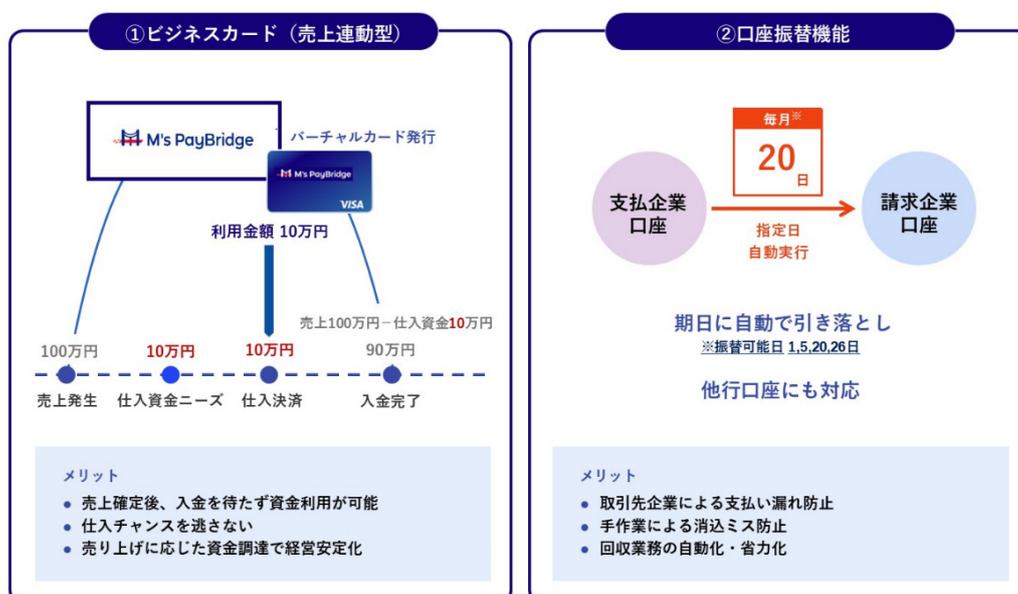
② 口座振替機能の追加

請求データに基づき、期日に自動で取引先口座（他行口座も対応）から引き落とせる機能です。これにより、定期的な取引の決済が自動化され、取引先企業による支払い漏れや、請求企業側での手作業による消込ミスを防止できます。回収業務の自動化・省力化により、業務負担も大幅に軽減します。

③ 請求管理機能の拡充

請求・決済情報を一元管理し、履歴やステータスをリアルタイムで可視化する機能です。これにより、支払い状況の確認や管理上のミスがなくなり、業務効率化と情報の取りこぼし防止に貢献します。

【請求企業：キャッシュフロー改善と業務効率化を実現する2つの新機能】



(2) 支払企業（お取引先企業）向け

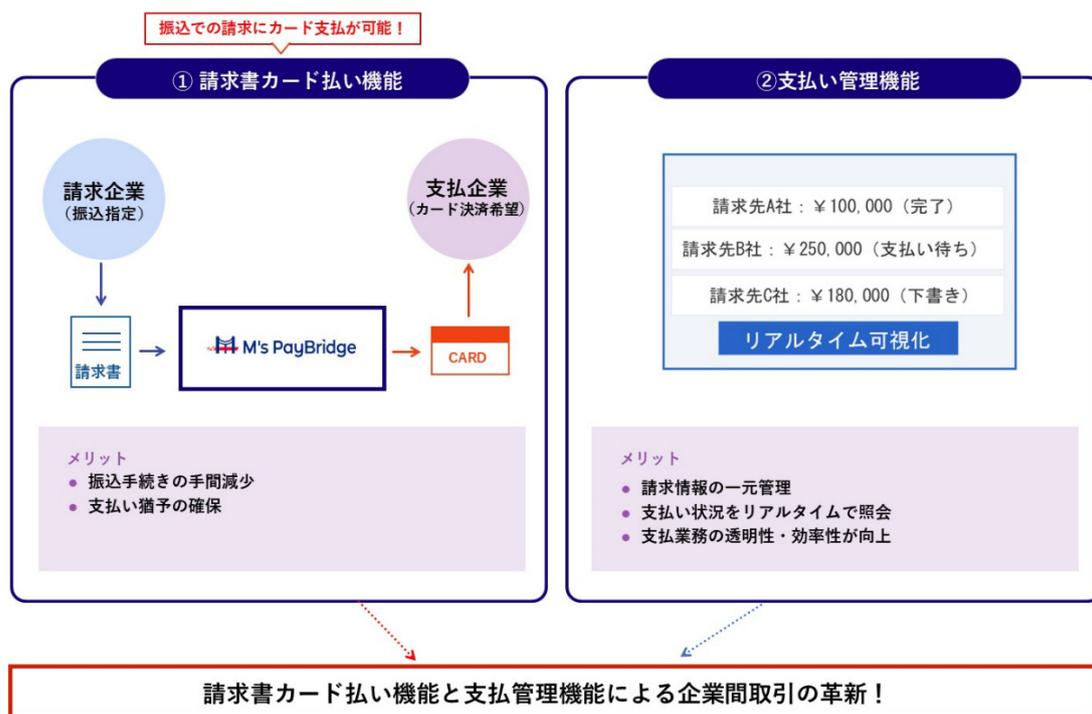
① 請求書カード払い機能の追加

振込指定された請求書の支払いをクレジットカード決済で行える機能です。これにより、振込手続きの手間が減少することに加え、支払い猶予の確保が可能となり、資金繰りの改善に寄与します。

② 支払管理機能の追加

請求情報を登録し、支払い状況をリアルタイムで照会できる機能です。これにより、支払業務の透明性・効率性が向上します。手続きの簡素化と資金運用の自由度拡大により、企業間取引の新たなスタンダードとなるプラットフォームへ進化します。

【支払企業：資金繰り改善と業務効率化を実現する2つの新機能】



この度の機能強化は、2025年4月に策定した「M's PayBridge」ロードマップに基づいた計画的アップデートであり、企業間決済に求められるスピード感と安定性の両立を前進させるうえで重要なマイルストーンです。

今後もみずほ銀行と GMO イプシロンは、企業間取引のさらなる利便性向上と業務効率化を目指し、「M's PayBridge」の機能拡充を続けていくとともに、多様化する企業のニーズに応え、お客さまの成長を支援し、社会全体の持続的な発展に努めていきます。

※1 2024 年 12 月 6 日付ニュースリリース

「企業間決済プラットフォームの構築・提供に関する業務提携契約について」

https://www.mizuhobank.co.jp/release/pdf/20241206release_jp.pdf

※2 2025 年 4 月 24 日付ニュースリリース

「企業間決済プラットフォーム「M's PayBridge」の取扱開始について」

https://www.mizuhobank.co.jp/release/pdf/20250424_4release_jp.pdf

以 上